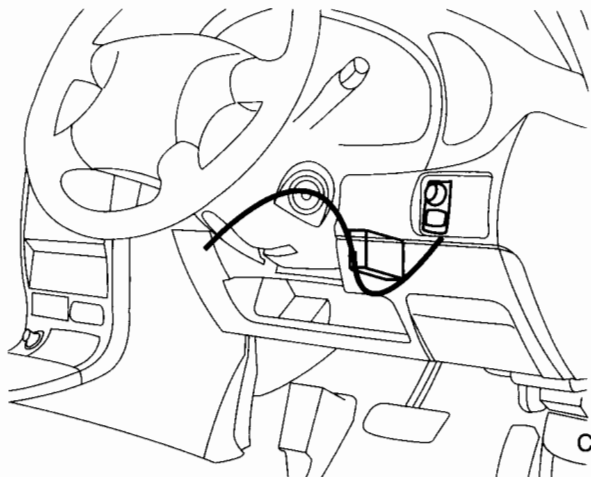


# 日産純正ドアミラー自動格納装置取付要領書

## 日産自動車株式会社

1 部品番号 B5570-89910 集中ドアロック及び電動格納ドアミラー付車

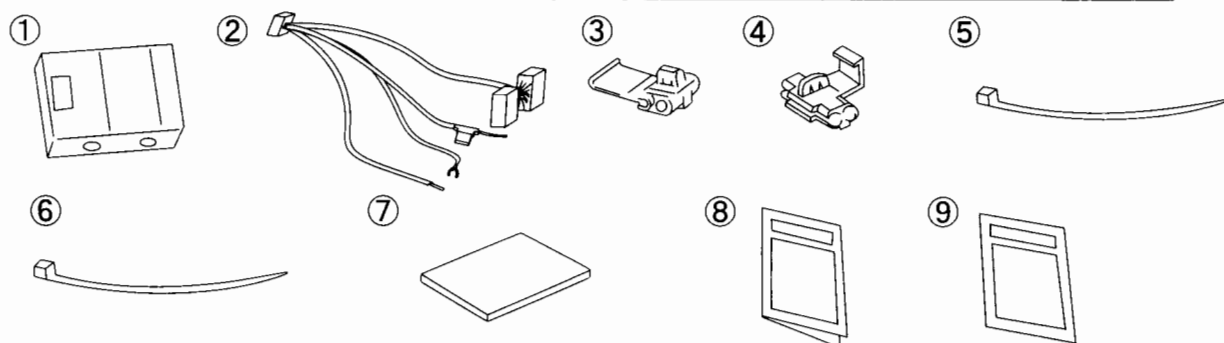
2 取付完成図



※取付位置は、車種毎に異なります。

3 構成部品 (取付作業前に構成部品の確認を行ってください。)

No.	部品名称	数量	No.	部品名称	数量
①	コントローラー	1	⑥	ハーネスバンド(小)	6
②	ハーネス	1	⑦	クッションテープ	4
③	エレクトロタップ(赤)	2	⑧	取付要領書	1
④	エレクトロタップ(青)	2	⑨	取扱説明書	1
⑤	ハーネスバンド(大)	1			



4 必要工具

ドライバー(プラス、マイナス)、プライヤー、ニッパー、ソケットレンチ、ビニールテープ

### ⚠ 注意



本部品には、エレクトロタップが2種類入っております。接続可能なハーネスの線径がそれぞれ規定されておりますので、下記適用線径を参照の上、接続を行ってください。また、指定したエレクトロタップ以外を使用した場合、接続不良及びハーネスの断線の恐れがありますので、ご注意ください。

エレクトロタップ(赤)・・・適用線径0.5~1.25sq





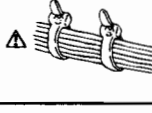

エレクトロタップ(青)・・・適用線径0.85~2.0sq

## 5 取付上の注意事項

- ・ドアミラー自動格納装置は最初の取り付けの良否がその後の性能、耐久性及びトラブルの有無に大きく影響します。作業を始める前に以下の注意事項をよくお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。
- ・記載事項を守らなかったために発生した不具合及び設定以外の車両に取り付けたために発生した不具合については責任を負いかねる場合があります。
- ・本文中の表示記号と意味は次のとおりです。内容をよく理解してから作業を始めてください。

 <b>注意</b>	安全のために必ずお守りください。 守らないと損害または事故につながる恐れがあります。		お車のために必ずお守りください。 守らないと車両破損につながる恐れや正規性能を確保できないことがあります。
---	---	---	--

### 注意

	作業は原則として屋内で行ってください。作業確認時、排気ガスの充満には十分注意してください。		配線ギボシ、コネクター等の接続は相手側の根元まで確実にはめ込んでください。またリードワイヤーのターミナルは振動でゆるまないようにスクリュー等で確実に取り付けてください。接続不良の防止になります。
	車両に損害を与えないように、エンジン回りのボディー及び車室内には保護カバーを使用して作業を行ってください。		ボルト、ナットの締め付けは、寸法に合った工具を使用してください。締め付けトルクの指示のある部位は規定のトルクで確実に締め付けてください。ボルト、ナットをいためたり、しっかり固定できずに外れたりして危険です。
	配線作業中はバッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーをつないだまま作業を行うと、故障の原因や電気ショート事故による感電や怪我の原因になります。		車両のワイヤリングハーネスを強く引っ張らないでください。コネクターの外れ、断線及び損傷の防止になります。
	車両電装品が正常に作動するか確認を行ってください。また、ラジオなどの電装品のメモリーを控えておいてください。取付後の修復チェック時のトラブルの防止になります。		部品の取り付けや外したフィニッシャー類を取り付ける際は、配線を引っかけたり、はさみ込まないでください。断線やショートなどにより事故や感電、火災の原因になることがあります。
	車両部品を取り外す場合や復元する場合には、日産自動車(株)発行の整備要領書を参照し作業をしてください。誤作動の防止となります。		テープおよび両面テープ等で取り付ける箇所は、汚れ、油等をタリーナー液もしくは中性洗剤を使い完全に除去してください。汚れたまま貼り付けると、有効な貼り付け効果が得られません。
	車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行ってください。(特に裏側に注意してください火災の原因になります。)		ハーネス配索の際は、取付要領書の野指示に従い、運転操作の妨げにならないようにバンド等を使用して固定し、まとめてください。ステアリングシャフトやシフトレバー、ブレーキペダル等に巻き付くと危険です。
	車両から取り外したクリップ、スクリュー等は復元作業時、間違えないように部品ごとに区別しておいてください。間違えて使用するとしっかりと固定できずに外れたりして危険です。		ハーネス配索後、修復前に取り付けた部品の作動チェックを行ってください。誤配線の防止になります。
	車両のコネクターを外す際は、リード線を引っ張らずコネクター本体を持ってロックを外してください。リード線断線の防止になります。		

### ● SRSエアバッグ装着車に取り付ける際の注意事項

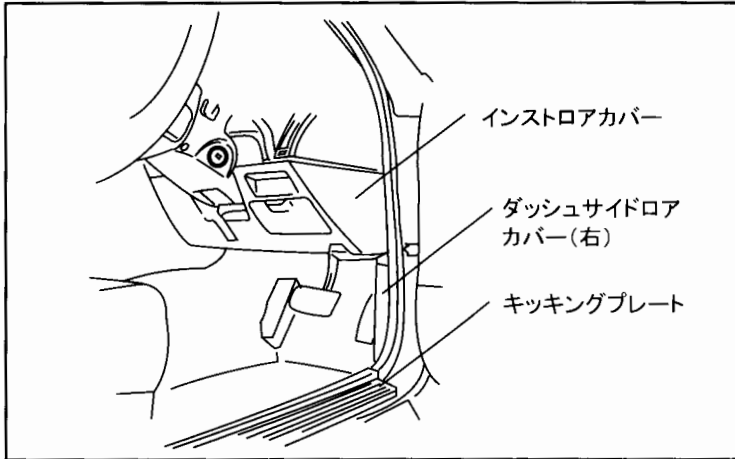
- ・SRSエアバッグ(以下エアバッグ)装着者に取り付ける際は、エアバッグ関連の部品に影響が内容に注意して作業を行ってください。
- ・エアバッグシステム用のワイヤーハーネスは、コネクター首下部に黄色の識別テープが巻かれておりステアリングコラム、インストルメントパネル、センターコンソールに配策されているため、これらの部分に係る作業時は、整備要領書の「エアバックシステム取扱上の注意」を必ず守ってください。
- ・エアバッグシステムに関連するハーネスを損傷する恐れのあるときはキー-SWをOFFにして、バッテリーのプラス、マイナス端子を外して整備要領書規定の時間が過ぎてから作業を行ってください。
- ・エアバッグ関連のハーネスに割り込み接続する場合は、下記項目に注意してください。
  - ①結線は、車両ハーネス側で行ってください。
  - ②エアバッグコネクターは外さないでください。
  - ③誤作動防止のため、回路のチェック時にサーキットテスターを使用しないでください。
- ・車両復元後、下記の状態のいずれかが発生した場合は早急に点検を行ってください。
  - ①警告灯がキー-SW ONで点灯しない。
  - ②警告灯がキー-SW ON後、約7秒後に消灯しない。
  - ③キー-SW ON後、約7秒後に一度消灯した警告等がその後点灯又は点滅する。

### ● オプションのアース端子を車両アース端子と共締めで取り付ける際の注意事項

- ・オプションのアース端子を車両アース端子へ共締めする際は、ボルト、車両アース、オプションアース、ボディーパネルの順に取り付けを行ってください。

6 取付要領 (詳しい取付方法は、車種別の取付要領書をご覧ください。)

1. 車両部品の取外し

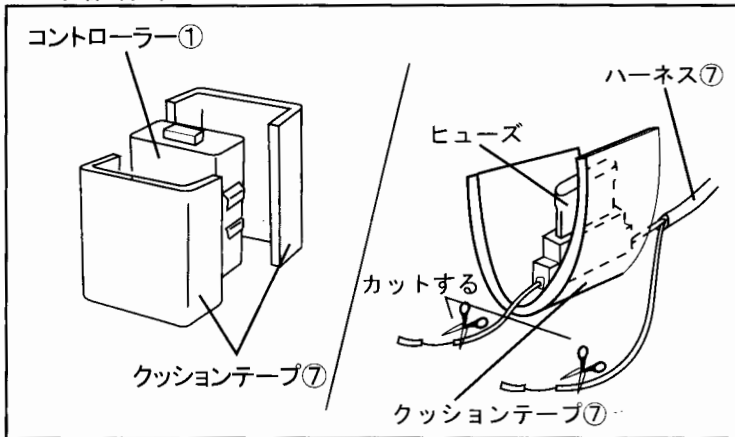


- (1) インストロアカバーを取外します。
- (2) キッキングプレートを取外します。
- (3) ダッシュサイドロアカバー(右)を取外します。
- (4) 運転席ドアトリムを取外します。  
(電動ミラースイッチがドアにある場合)

⚠ 注意

- ・車両部品の取外し及び復元は車両整備要領書を参照して下さい。
- ・取外し部品は、車種によって異なりますので、車種別取付要領書を参照してください。車種別取付要領書は、取付要領書集または、部品回章にてご案内しております。

2. 準備作業



- (1) コントローラー①表面にクッションテープ⑦を2枚貼付けます。
- (2) ハーネス②のヒューズケースに半分に切ったクッションテープ⑦を巻き付けます。
- (3) ハーネス②の+B線(赤)およびドアロック信号線(黄)のハーネス先端部分の被覆が剥けている部分をカットします。

3. コネクタへの端子の挿入

端子番号	パターンA	パターンB
NS10 FW	1 橙色(OR)	白色(W)
	2 茶色(BR)	青色(L)
	6 青色(L)	橙色(OR)
	10 白色(W)	茶色(BR)
NS10 MW	1 橙色(OR)	緑色(G)
	2 茶色(BR)	灰色(GY)
	6 灰色(GY)	橙色(OR)
	10 緑色(G)	茶色(BR)

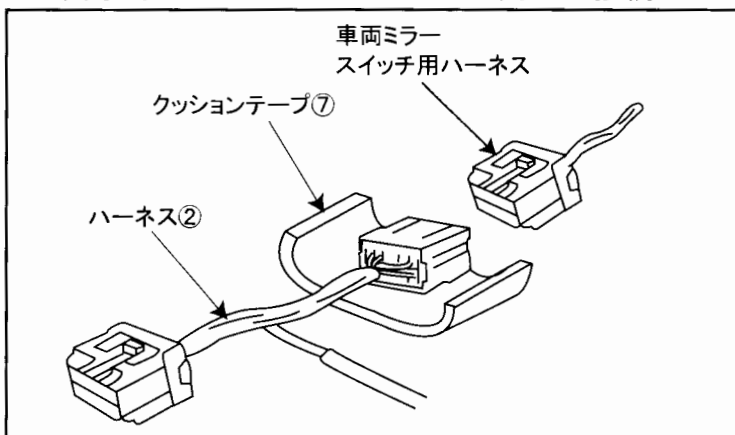
- (1) ハーネス②のコネクタ(NS10MW: 10極白)に端子8本(オス4本、メス4本)を左図を参照して挿入します。

⚠ 注意

- ・車種により、端子挿入のパターンが異なりますので、詳細は車種別取付要領書を参照してください。車種別取付要領書は、取付要領書集または、部品回章にてご案内しております。
- ・端子を挿入する際は、方向および位置に注意してください。方向が間違っている場合は、正しい取付けが出来なくなります。

- (2) リテーナーを復元します。

4. 車両ミラーコントロールスイッチの割込み接続



- (1) ハーネス②のコネクタ(NS10MW: 10極白)を車両電動ミラースイッチコネクタ(NS10FW: 10極白)に割込み接続します。

- (2) 接続したコネクタに2-(2)準備作業で半分にカットしたクッションテープ⑦の残りを巻き付けます。

## 5. コントローラーの取付け

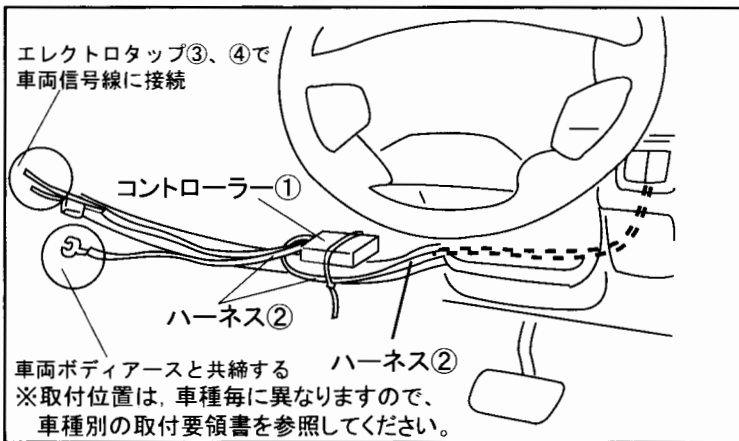


(1)コントローラー①を車両ハーネスにハーネスバンド(大)⑤で固定します。

### △注意

- ・取付位置の詳細は、車種別の取付要領書を参照してください。
- ・コントローラー①を車両ハーネスに固定する場合、車両側可動部品(アクセル・ブレーキ・クラッチペダル、エアコンのアクチュエーターロッド等)およびエッジ等に干渉しないように固定してください。

## 6. コントローラーとハーネスの接続および各信号線の接続



(1)ハーネス②をコントローラー①まで車両ハーネスに沿って配索します。

(2)コントローラー①とハーネス②を接続します。

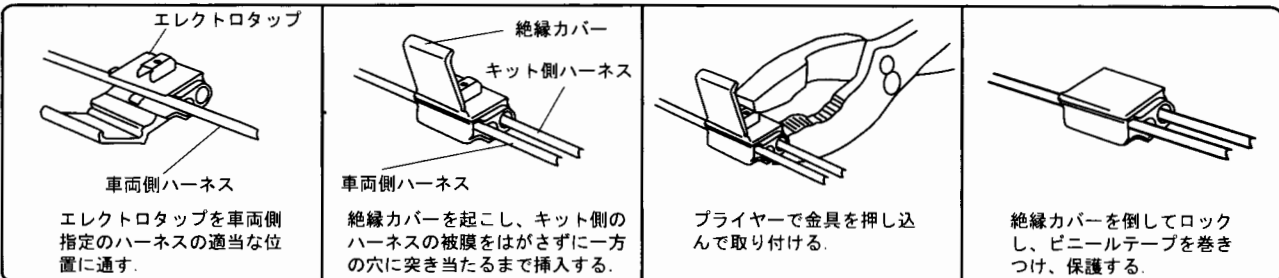
(3)ハーネス②の+B線[赤(R)], ドアロック信号線[黄(Y)], アース線[黒(B)]を信号接続先まで車両ハーネスに沿って配索します。

(4)ハーネス②の+B線[赤(R)], ドアロック信号線[黄(Y)]をそれぞれの車両信号線にエレクトロタップ③④で接続します。

### △注意

接続先につきましては、車種別の取付要領書をご覧ください。車種別の取付要領書は、取付要領書集または、部品回章にてご案内しております。

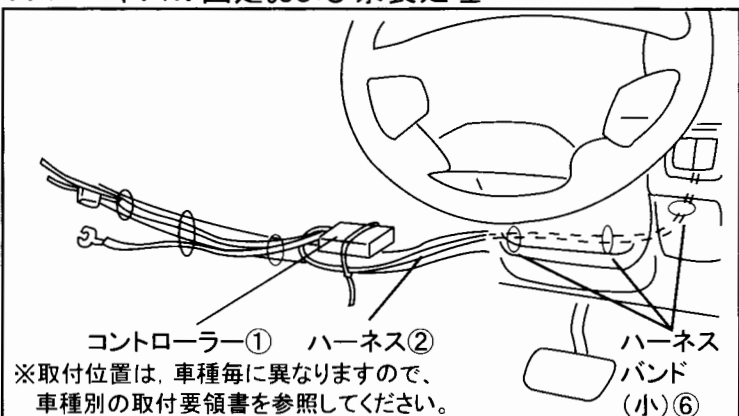
(5)ハーネス②のアース線[黒(B)]を車両ボディアースに共締めします。



### △注意

1. 推奨している接続先に接続しない場合は、電源系ヒューズ容量10A以下の回路を配線図集及び実車での信号を確認してから、線径に注意して接続を行ってください。その際、制御系・走行系(ECCS,A/T C/U,ABS,・・・etc.)等の重要部品の系統への接続は避けてください。
2. エレクトロタップは、適用線径に合ったもの以外は使用しないでください。使用するエレクトロタップの詳細は、車種別の取付要領書を参照してください。
3. GNDのアース端子(クワ型端子)を車両ボディアースに共締めする場合、ボルトは整備要領書等を参考に規定のトルクで締め付けてください。

## 7. ハーネスの固定および余長処理



(1)接続したハーネス②を車両ハーネスにハーネスバンド(小)⑥で固定および余長処理をします。

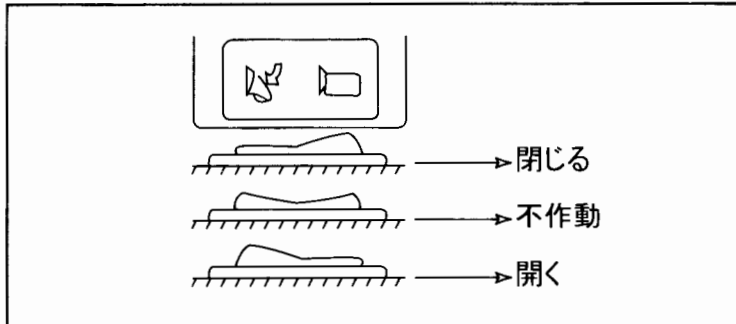
### △注意

- ・ハーネス②を車両ハーネスに固定する場合、車両側可動部品(アクセル・ブレーキ・クラッチペダル、エアコンのアクチュエーターロッド等)およびエッジ等に干渉しないように固定してください。
- ・ハーネス②はたるみのないようまとめ、車両ハーネスに固定してください。

## 8. 動作確認

(1) バッテリーのマイナス端子を接続する。

(2) 手動モードでの作動



① キースイッチをACCまたはONIにします。

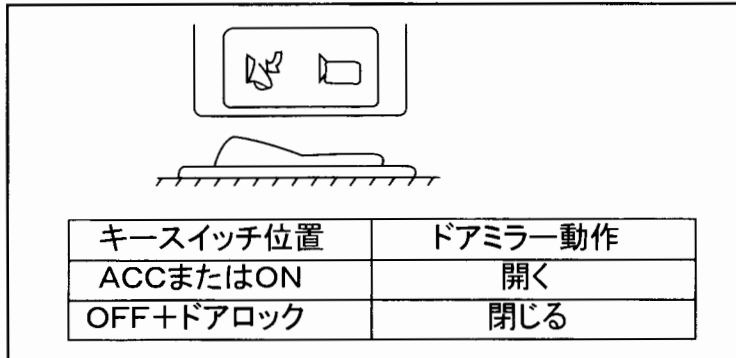
② 電動ミラースイッチを閉じるマーク側にします。

ミラーが閉じます。

③ 電動ミラースイッチを開くマーク側にします。

ミラーが開きます。

(3) 自動モードでの作動



① 電動ミラースイッチを閉じるマーク側にします。

② キースイッチをACCまたはONIにします。

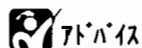
ミラーが閉じます。

③ 電動ミラースイッチを開くマーク側にします。

ミラーが開きます。

④ キースイッチをOFFにし、降車してドアをロックします。

ミラーが自動的に格納します。



自動モードを使用しない場合は電動ミラースイッチを中立にしてください。  
また、ACC・IGNがONしている状態で、ドアをロックしてもミラーは格納しません。

## 9. 復元作業

(1) 取外した車両部品を全て元通りに取り付けます。

△注意

この際、ハーネスのかみ込みや外したコネクタの挿し忘れ及び挿し間違いには十分注意してください。ハーネス断線・誤作動などの原因となります。

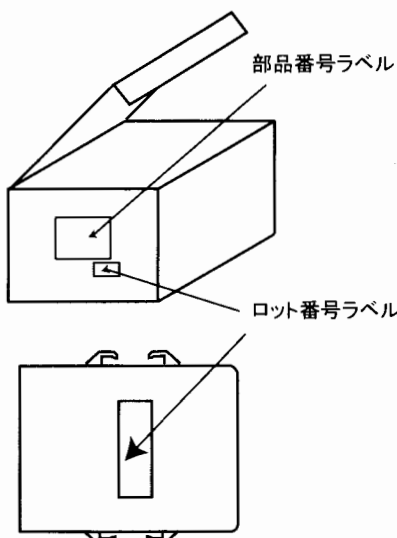
(2) 各部品の締め付け忘れはないか点検してください。

(3) 車両から取外した部品の組付け忘れはないか確認してください。

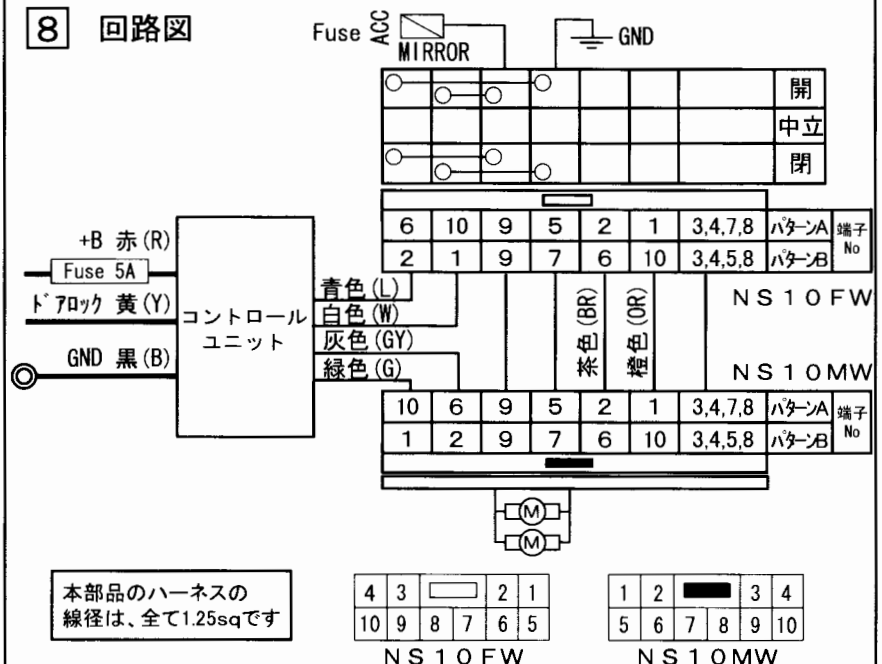
(4) 車両電気部品の作動確認をしてください(時計の調整、ランプ・スイッチ・計器類が正常に作動している事を確認)

(5) 取付け後の車両全体の点検は必ず行ってください。

### 7 製造番号記載位置

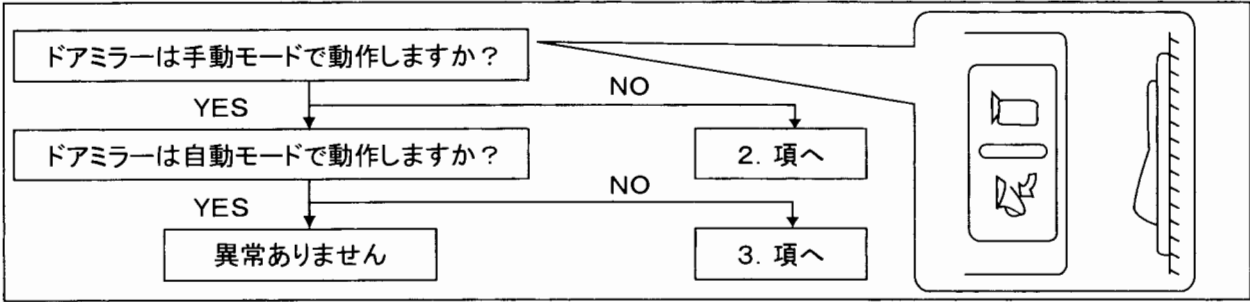


### 8 回路図

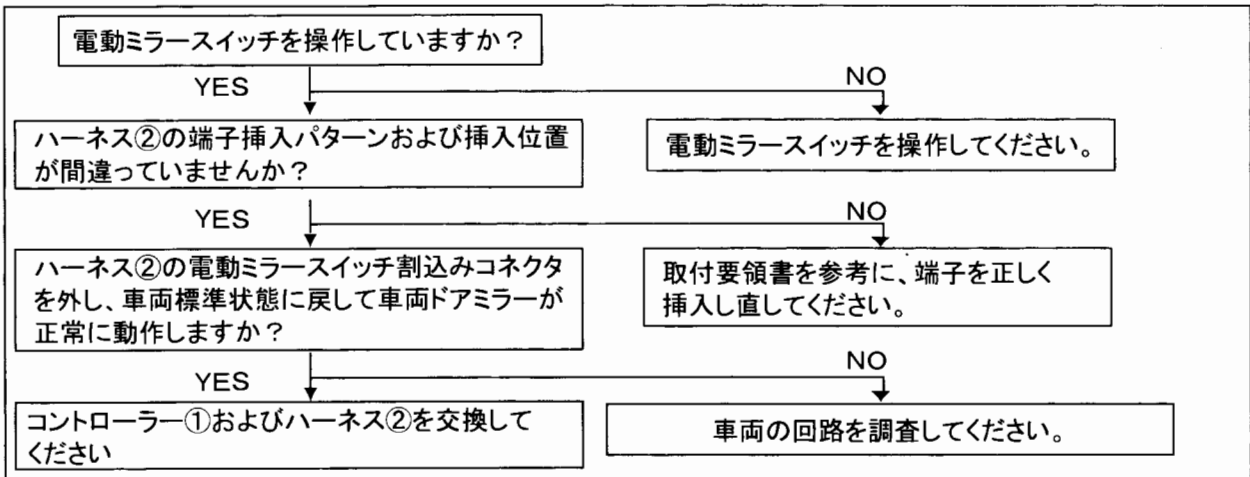


## 9 トラブルシューティング

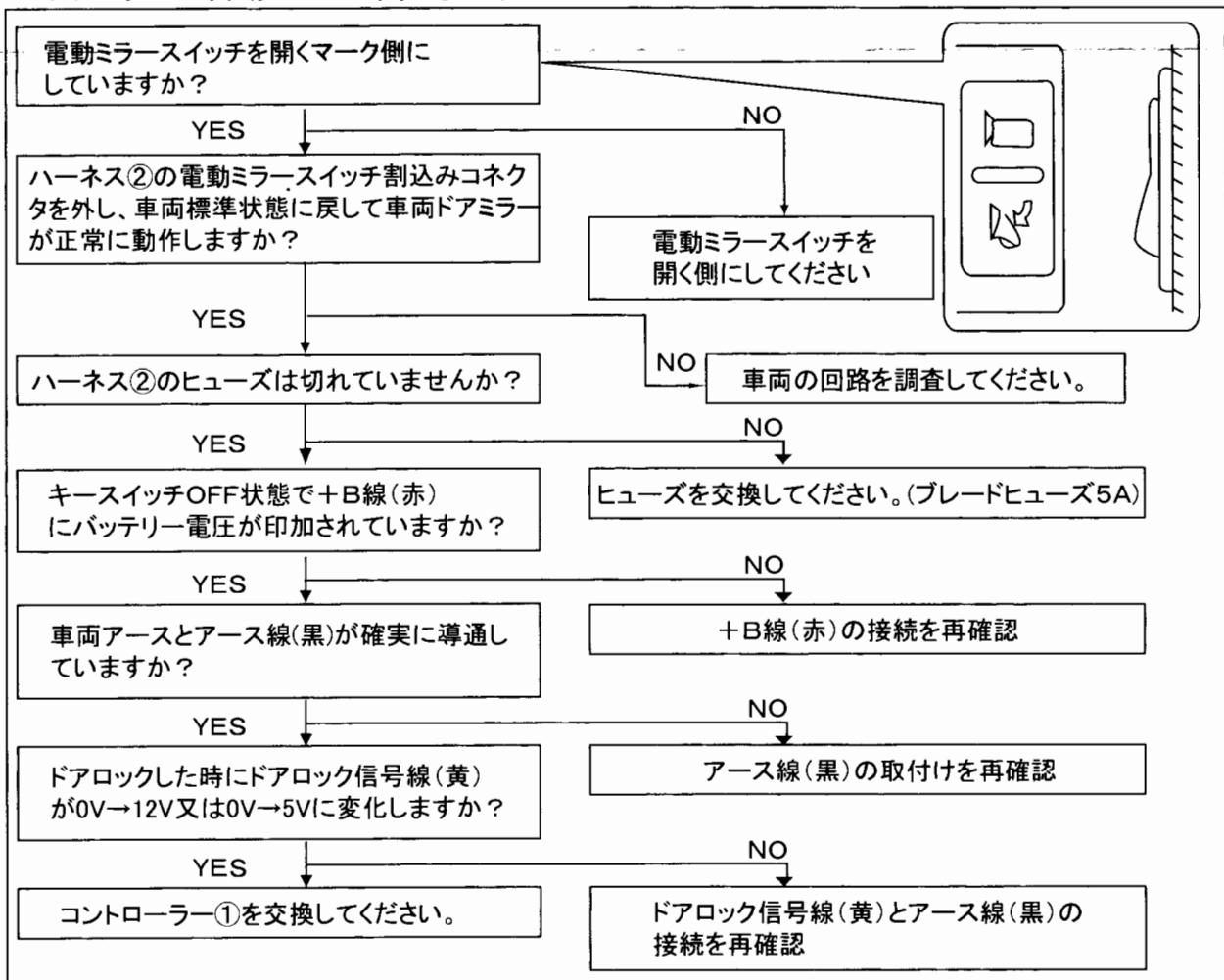
### 1. 不具合モードの分類



### 2. ドアミラーが手動モードで動作しない場合



### 3. ドアミラーが自動モードで閉じない場合



ドアミラーが片側だけ動作しない不具合モードは本製品の異常ではありませんので車両側の回路及びドアミラー本体を調査してください。

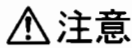
# 日産純正ドアミラー自動格納装置取扱説明書

## 日産自動車株式会社

このたびは日産純正ドアミラー自動格納装置をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みの上正しくお使いください。  
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

**販売会社様へのお願い： 本取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。**

本書で使用している記号は次のとおりです。



**注意**

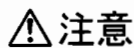
安全のために  
注意してい  
だきたいこと



知識

知っておくと  
便利なこと

安全にお使いいただくために必ずお守りいただきたいこと。



**注意**

- (1) ドアミラーを開閉するときには手や衣服などをはさまれないように注意してください。
- (2) 冬季の凍結等でドアミラーの開閉に障害がある時は本システムの使用は避けてください。故障の原因になります。
- (3) 万一、ドアミラーが閉じたままになった場合はミラー格納スイッチを中立にして手でドアミラーを開いてください。

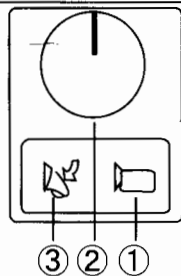
### ご使用方法

#### 1. 電動ミラースイッチ

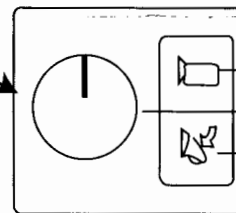


知識

電動ミラースイッチは縦型と横型がありますが、基本操作は同一です。

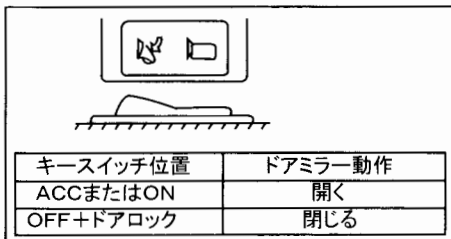


電動ミラースイッチ

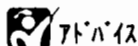


- ① 開くマーク
- ② 中立
- ③ 閉じるマーク

#### 2. 自動モードでの開閉



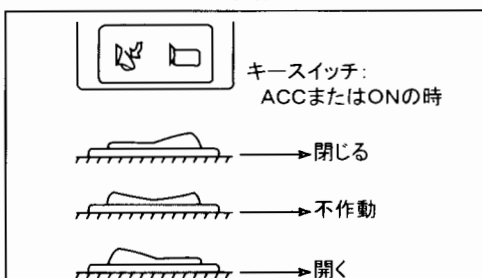
- ① 電動ミラースイッチを閉じるマーク側にします。
- ② キースイッチをACCまたはONにします。  
ミラーが閉じます。
- ③ 電動ミラースイッチを開くマーク側にします。  
ミラーが開きます。
- ④ キースイッチをOFFにし、降車してドアをロックします。  
ミラーが自動的に格納します。



アドバイス

自動モードを使用しない場合は電動ミラースイッチを中立にしてください。  
また、ACC・IGNがONしている状態で、ドアをロックしてもミラーは格納しません。

#### 3. 手動モードでの開閉



- ① キースイッチをACCまたはONにします。
- ② 電動ミラースイッチを開くマーク側にします。  
ミラーが開きます。
- ③ 電動ミラースイッチを閉じるマーク側にします。  
ミラーが閉じます。